



# 鶏 鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

## 聖書の言葉

「罪は戸口で待ち伏せており、お前を求め  
る。お前はそれを支配せねばならない」

聖書(創世記4章7節)

牧師 河合裕志

アダムと妻エバの間にカインが生れ、次に弟アベルが生まれた。長じてカインは土を耕す者、アベルは羊を飼う者となった。やがてカインは土の実りを主(神)に献げた。アベルは肥えた羊の初子を献げた。主はアベルとその献げ物に目を留めこれを受入れたけれどカインの献げ物には目を留めなかった。なぜなんだろう。この主の取扱いには不公平を感じる。

この点後にヘブライ書の著者はこう書いた。「信仰によって、アベルはカインより優れたいけにえを神に献げ、その信仰によって、正しい者であると証明されました」(11章4節)。信仰の有無に焦点を当てている。一体に献げ物は神への感謝の念からなされるもの、これがカインには無かった、不足していたということか。

カインは「激しく怒って顔を伏せた」。この怒りは①献げ物を受入れてくれなかった神に対するもの、②またいい目を見ている弟に向けてのものだったろう。

この様子を見た神はカインに言った。「どうして怒るのか。どうして顔を伏せるのか。もしお前が正しいのなら、顔を上げられるはずではないか。正しくないなら、罪は戸口で待ち伏せており、お前を求める。お前はそれを支配せねばならない」。

神はカインの心の内に①と②を見た。そして親心をもってカインに忠告した。罪は野獣のようにお前を食い殺そうとして待ち伏せてるよ。しかしお前は罪に負けてはいけないよ。罪を犯してはいけないよ。これをコントロールしなさい。

果してカインはどうしたか。彼は「弟アベルに言葉をかけ、二人が野原に着いたとき、カインは弟アベルを襲って殺した」。大変に残念、悲惨なことになった。神はカインに言う。「何とということをしたのか。お前の弟の血が土の中からわたしに向かって叫んでいる」。神はたいそうに怒り、そして悲しんだ。

カインの末裔(子孫)、これが人類ということになる。カインの内に宿る罪～神への怒り、人への怒り～これを誰も受け継いで来ている。これを「原罪」と言ったりする。結果多くの罪悪、争い事が絶えない。どうする。神はなお人類を憐れんで独り子のキリストを遣わす。これを人類の罪の身代りとして十字架につけ罪を赦す。そして人間を神とキリストと共に歩めるもの、神への愛と隣人への愛をもって生きるものとしてくれた。誠に感謝という他はない。

### 集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

中高青年会：日曜日礼拝後

聖書を学び祈る会：水曜日午前10時

牧師面談：水曜日午後1時～7時